①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種目	学 年
104-48	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104·数研	論Ⅲ・707	EARTHRISE English Logic and Expression III Advanced		ınced

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの 3 つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

- 1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
- 2. 言語材料は,論理・表現 I ,論理・表現 I で学んだことを活用し,**論理的に英語で表現する能力を伸ばせるようなもの**を選定した。
- 3. 「書く」「話す」の生産的 2 技能を中心に育成する目的において,「読む」「聞く」の受容的 2 技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け,学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ,かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身につけ、積極的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Politeness	言語的配慮(Politeness)について正しい知識を習得し、コミュニケーションにおいて相手との関係性に応じた適切な表現を追究する姿勢を養う。(第1号)	前見返しⅠ・Ⅱ
後見返し アメリカ英語とイギリス 英語の比較	アメリカ英語とイギリス英語における表記や 表現,発音などの違いを正しく理解し,追究 する姿勢を養う。(第1号)	後見返しⅢ・Ⅳ
はじめに	パラグラフの展開について基本的かつ幅広い 知識を確実に身につける。 (第1号)	pp. 4-13
Lesson 1∼Lesson 12	英語で論理的に表現するための基本的かつ幅 広い知識を確実に身につける。 (第1号)	pp. 16-73
	他者と協力することの重要性や協調性を養 う。 (第3号)	Task 3 ② (p. 20 ほか)
	自己表現活動を通じて、創造性及び自主性を 養う。 (第2号)	Task 2, Task 3, Task 4 (pp. 19-21 ほか)
	男女の平等や人種などにおける偏りが生じないように配慮した。(第3号)	写真・イラスト 全般

	さまざまな場面や状況において、相手の存在 を意識してより効果的なコミュニケーション を図る力を培う。(第1号)	pp. 16-73
	個人を尊重し、自主性を養い、職業などを意 識させる題材を扱った。(第2号)	pp. 32-35 pp. 36-39 pp. 60-63
	平等,自他の敬愛と協力の重要性を認識し, 主体的に社会の形成に参画する態度を養う。 (第3号)	pp. 50-53
	社会的な問題等について理解を深め、それを 表現することで、社会の一員としての責任意 識を高める。(第3号)	pp. 32-35 pp. 36-39 pp. 50-53 pp. 70-73
	環境を主題にした教材により、自然を大切に し、環境保全に寄与する態度を養う。(第4 号)	pp. 70-73
	日本の伝統や文化などに対する理解を深める とともに,国際社会の一員として,その発展 に寄与する態度を養う。(第5号)	pp. 18-21 pp. 46-49 pp. 56-59
Speech & Presentation	英語でスピーチやプレゼンテーションをする ための基本的かつ幅広い知識を確実に身につ ける。(第1号)	pp. 74-75
Discussion	英語でディスカッションをするための基本的かつ幅広い知識を確実に身につける。(第 1 号)	pp. 76-77
Debate	英語でディベートをするための基本的かつ幅 広い知識を確実に身につける。(第1号)	pp. 78-80
Further Activities	幅広い知識と教養を身につける。 (第1号)	рр. 82-93
	自己表現活動を通じて,創造性及び自主性を 養う。(第2号)	pp. 82-93
	個人を尊重し、自主性を養い、職業などを意 識させる題材を扱った。(第2号)	p. 86, p. 89, p. 91
	識させる題材を扱った。(第2号) 社会的な問題等について理解を深め、それを 表現することで、社会の一員としての責任意	p. 91 p. 86, p. 89,
	識させる題材を扱った。(第2号) 社会的な問題等について理解を深め、それを表現することで、社会の一員としての責任意識を高める。(第3号) 食品ロスやエネルギー問題を主題にした教材により、環境保全に寄与する態度を養う。	p. 91 p. 86, p. 89, p. 93
Useful Expressions	識させる題材を扱った。(第2号) 社会的な問題等について理解を深め、それを表現することで、社会の一員としての責任意識を高める。(第3号) 食品ロスやエネルギー問題を主題にした教材により、環境保全に寄与する態度を養う。(第4号) 日本の伝統や文化などに対する理解を深めるとともに、国際社会の一員として、その発展	p. 91 p. 86, p. 89, p. 93 p. 88, p. 93

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特色

A. 形式別配列

社会生活でよく見られる5つの形式(「メールを書く」「意見を述べる」「イラストを説明する」「申込書・応募書類を作る」「要点を整理する」)に沿った配列にしています。各形式の中で、日常的な話題や社会的な話題を扱っています。

- B. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の能力を総合的に伸ばせる構成 各課とも「書く」活動を行うためのアイデアを出す際に「話す(やり取り)」活動を 取り入れたり、「話す(発表)」活動を行うために「書く」活動を行ったりと、2 技 能3 領域を総合的に伸ばせるような Task を取り入れた構成としています。
- C. 理解しやすい スピーチ・プレゼンテーション などの解説と例 スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートといった, 比較的高度な言語活動について, わかりやすい例とともに解説しています。

Ⅱ. 各課の構成

A. 正課

正確な内容理解を問う活動と自己表現活動をバランスよく取り入れています。

- 1. 導入:リスニング活動で、各課で扱うトピックの関連知識を習得します。
- 2. 素 材:会話文, テキストメッセージ, メール, ニュース記事, ウェブサイト, グラフなど, さまざまな素材を複合的に扱っています。
- 3. Task 1:素材を正確に理解しているかを確認します。Q&A 形式のほか、下のような素材の情報を表にまとめる活動も取り入れています。

① When was this article published?	
② Why has the city started the Smart Farm Project?	To respond to
3 According to the city spokesperson, what changes will smart agriculture bring about?	

- 4. Task 2: 自分の考えや意見を述べたり、クラスメートと議論したりする活動です。
- 5. Task 3: 各課で扱う形式に準じた文章をモデルとして提示しています。モデルの文章を読んだ上で、①~③の活動に取り組みます。①~③の活動では、クラスメートとの情報共有を経て、文章を書くための要素を組み立てていきます。
- 6. Task 4: Task 3 のモデルの文章を参考にしながら、①~③で作成した要素を元に、文章を書く活動です。
- 7. T R Y: Task 4 で書いた文章を元に発表する活動です。

B. 正課以外

- 1. 「はじめに」では、パラグラフの展開例についての例と解説を読み、実際にパラグラフの構成を分析する活動を行います。
- 2. 「形式解説」では、形式ごとのポイントや注意点を例とともに解説しています。
- 3. スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートの進め方や評価の観点を説明するページを設けています。
- 4. Further Activities として、本課と対応する活動を設けています。素材を読んで理解する活動と自分の意見や考えを書く活動を設けています。
- 5. 各課のトピックに関連する語句を Useful Expressions として掲載し、表現活動の際に参照できるようにしています。
- 6. Glossary には、背景知識を必要とするような語句についての解説を載せています。
- 7. Speaking と Writing それぞれのルーブリックを用意しています。
- 8. 前見返しでは、コミュニケーションの際に大切な「Politeness」について例文とともに解説しています。また、後見返しでは、アメリカ英語とイギリス英語の違いについて解説しています。

◆教材配当表 <B5 判・104 ページ・4 色>

課	タイトル	学習事項
	はじめに	パラグラフの展開パターン
メール	を書く	
1	Coming to Japan	メールに返信をする
2	Online shopping	問い合わせのメールを書く
3	Preparing to study abroad	問い合わせのメールを書く
意見を	述べる	
4	24-hour stores	同意・反意を述べる
5	Smart agriculture	賛成・反対を述べる
6	Aiman, the household robot	意見を述べる
イラス	トを説明する	
7	Recipes	料理工程を説明する
8	A helping hand	出来事を説明する
申込書	・応募書類を作る	
9	International Science Fair	応募書類を作成する
10	Future career plans	申込書を作成する
要点を	整理する	
11	Media reliability	情報をまとめる
12	Garbage problems	要点を整理する
	Speech & Presentation	
	Discussion	
	Debate	
	Further Activities	

- ・はじめに:パラグラフの展開パターンを例文とともに解説。活動も収録。
- ・そ の 他: Politeness (前見返し) , トピック別表現のまとめ Useful Expressions (pp. 94-97) , 背景知識となる語句解説 Glossary (pp. 98-100) , アメリカ英語とイギリス英語の比較 (後見返し) を収録。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表,配当授業時数表)

※受理番号	学校	教 科	種目	学 年
104-48	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104·数研	論Ⅲ・707	EARTHRISE 1	English Logic and Expression III Adva	anced

1.編修上特に意を用いた点や特色

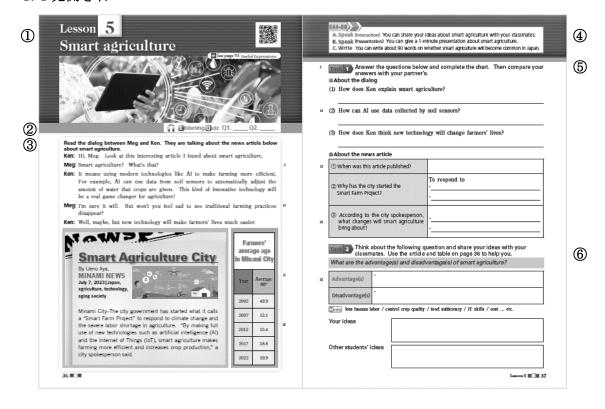
I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じられる話題や社会的な話題など、実生活に即した **バラエティーに富んだ内容**を取り揃えています。
- B. 英語を通じて**積極的にコミュニケーションを図る態度**を育成するため、指示文には英語を用いています。また、表現活動を行いやすいように、適宜**支援**を与えています。
- C. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話したり書いたりできるようにしています。
- D. **多様な観点からの考察や表現上の工夫**がなされるように,**学習者間の相互交流**を意識した言語活動を設け,**学習者が主体的・自律的に授業に参加**することができるように配慮しています。

Ⅱ. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書(教育基本法との対照表)」をご参照ください。

A. 本課

1.1 見開き目



① 二次元コード

Listening Quiz と複合素材のリスニング及び音読練習を行います。

② Listening Quiz

各課のトピックに関連したリスニング問題です。

③ 複合素材

会話文,テキストメッセージ,メール,ニュース記事,ウェブサイト,グラフ,広告など,さまざまな形式の素材を組み合わせて提示しています。

4 CAN-DO

各課で達成すべき目標を3領域(「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」) に分けて提示しています。

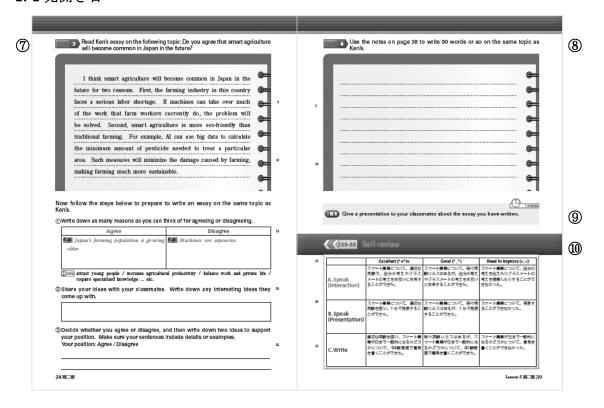
(5) Task 1

素材に対する内容確認をします。Q&A 形式のほか、情報を表にまとめる活動や、英作文の活動も取り入れています。

6 Task 2

各課のトピックに関連したお題に対して,クラスメートと意見交換をしたり,議論したりする活動です。適宜支援となる語句を提示しています。

2.2 見開き目



7 Task 3

Task 4 で英語の文章を書くための準備を行います。上半分ではモデルを提示しています。下半分で実際に自分が書く文章のメモを作成していきます。メモを作成する際に、クラスメートとアイデアを共有する活動を取り入れています。

(8) Task 4

Task 3 で作成したメモを用いて、英語の文章を書く活動です。

TRY

Task 4 で書いた英語の文章を元に発表を行います。

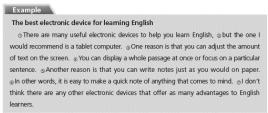
① CAN-DO Self-review

1見開き目で提示した CAN-DO の到達度を確認するためのチェックリストです。

B. その他

1. はじめに

パラグラフの展開パターンを例となる文章とともに解説しています。文章構造を視覚 的にもわかりやすく提示しています。



左ページの文章は次のような構成になっています。

① Introductory Sentence (導入文) : 「英語学習に適した電子機器」という話題の導入 ② Topic Sentence (主題文) : 「タブレットコンピュータをすすめる」という主張の提示

③ Supporting Sentence (支持文) 1 :理由の説明 1 ④ Detail (詳細文) : 理由の補足

⑤ Supporting Sentence (支持文)2 : 理由の説明 2 ⑥ Detail (詳細文) : 理由の補足

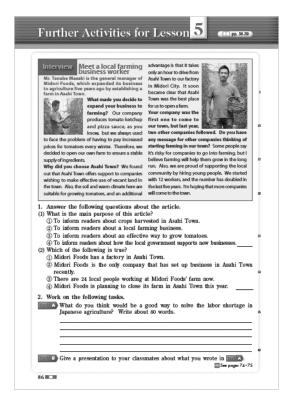
⑦ Concluding Sentence (結論文) : 英語学習にはタブレットコンピュータが適しているという 主張の再提示

2. Speech & Presentation, Discussion, Debate

スピーチやプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートの進め方や評価など について, 例とともに解説しています。

3. Further Activities

本課の各課と関連したトピックを扱い、素材の内容理解を問う客観式の問題と、自己 表現活動を扱っています。



2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
前見返し Politeness	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事 項	前見返しⅠ・Ⅱ	_
はじめに	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事 項	pp. 4-13	5
Lesson 1-12	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事 項	内容 (1) ・素材 (p. 18, p. 22 ほか)	36
	(2) 情報を整理しながら考えなどを 形成し、英語で表現したり、伝え 合ったりすることに関する事項	(2) ・ Task 2 (p.23 ほか) ・ Task 3 (p. 20, p.24 ほか) ・ Task 4, TRY (p. 21, p.25 ほか)	
	(3) ① 言語活動に関する事項 ア 「論理・表現 I 」及び「論理・表現 II 」における学習内容の定着を 図るために必要なもの イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと	(3) ① • Task 1, Task 2 (p. 19, p.23 ほか) • Task 3 (p. 20, p.24 ほか) • Task 4, TRY (p. 21, p.25 ほか)	
	② 言語の働きに関する事項	② ・素材 (p. 18, p. 22 ほか) ・Task 1 (p. 19 ほか)	
	内容の取扱い 「論理・表現 I 」の3と同様に取り 扱うものとする。	内容の取扱い 上記(2)に同じ	
Speech & Presentation	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと [発表]	pp. 74-75	2
Discussion	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り]	pp. 76-77	2

Debate	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り]	pp. 78-80	3
Further Activities	ウ 話すこと [発表] 内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] ウ 話すこと [発表] エ 書くこと	pp. 82-93	12
Useful Expressions	内容の取扱い 「論理・表現 I 」の3と同様に取り 扱うものとする。	pp. 94-97	_
Glossary	内容の取扱い 「論理・表現 I 」の3と同様に取り 扱うものとする。	pp. 98-100	—
後見返し アメリカ英語とイギ リス英語の比較	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事 項	後見返しⅢ・Ⅳ	—
		計	60